



重点分野3 (中目標)	社会サービスの改善												
開発課題3 (小目標)	【現状と課題】 保健・医療、教育や安全な水の確保、環境対策といった基本的な社会サービスの改善に貢献すべく、住民の生活基盤及び質の向上に向けて、社会サービスを提供するための基盤整備に資する支援が必要になっている。特に地方における生活安定のために、住民生活環境向上に寄与する支援が必要である。			【開発課題への対応方針】 人間の安全保障の観点から、貧困層が直接裨益する保健医療、教育、上下水道、廃棄物処理（環境）などの社会サービスの質と、社会サービスへのアクセスの向上を図るための協力が必要である。また、災害に対する貧困層の脆弱性を軽減し、持続的な経済発展を図るための協力が必要である。医療、上下水道等については、ハード面の整備と共に、技術協力によりインフラの維持管理・運営能力向上等のソフト面の支援を行い、効果的な協力を努める。上記方針を通じ、持続可能な開発目標1（貧困）、3（保健）、4（教育）、6（水・衛生）、11（持続可能な都市）、12（持続可能な消費と生産）の達成に貢献する。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
基礎的な社会サービス（保健、教育、上下水道等）及び災害対応能力の向上	基礎的な社会サービス（保健、教育、上下水道等）及び災害対応能力の向上プログラム	貧困層に直接裨益する保健や教育、上下水道といった基礎的な社会サービスの向上に向けた人材育成を中心とした協力をを行うとともに、災害対策の強化により災害に最も脆弱な貧困層の生活を守り、貧困削減を推進する。	地方都市上下水道整備計画	有償	2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	328.51		
			上下水道分野の研修	課題別研修他									
			防災分野の研修	課題別研修他									
			環境分野の研修	国別研修 課題別研修他									
			保健分野の研修	国別研修 課題別研修他									
			教育分野の研修	国別研修									
			基礎的な社会サービス分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								0.89	

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「水産無償」（＝水産無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」）、「実線「――」（＝実施期間）、「破線「- - -」（＝実施予定期間）  
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。